

平成26年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

浅間台地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

山坂も多いため高齢になると外出しにくい西区で一番人口が多い第6地区、また商業地の横浜駅を抱え高層マンション住民が増えている第5地区は、転入者と地域のつながり、高齢者などの把握やの交流の希薄などの課題の中で、当プラザでは、地域の特性や現状を踏まえ、町内会館やマンションなどに出向き出前介護講座の実施、子育て支援のための交流の場づくり、民生委員さん等地域の福祉関係者に向けた地域ケア会議を実施するなど、様々な角度からの事業を通じて支援のためのネットワークの構築づくりを前年度よりも頻度を多く充実した形で実施してまいります。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

高齢者をはじめ、様々な年齢の住民が利用する施設のため、安全かつ安心して利用できるよう給水設備、空調設備、各部屋や共有部の床の定期清掃などを計画的かつ適切に実施します。

イ 効率的な運営への取組について

経費特に事務費、光熱水費等、また事業費についても必要か無駄がないか検討し購入したり、法人本部と連携しながら効率的な運営に努めます。

ウ 苦情受付体制について

各事業の利用者等から苦情が寄せられた場合は、苦情対応マニュアルに基づき、苦情調査検討委員会を開催し、迅速に対応していきます。

施設長以下全職員で苦情内容を真摯に受け止め、事実関係や改善策を検討し、その結果は、利用者へも説明する体制を、また必要があれば、業務のあり方、体制の見直しをするなど改善する体制をとります。

また当法人でも第三者委員を設置し苦情受付の対応を充実させており、様々な連絡窓口、苦情解決対応フローについて、あらかじめ表にし、館内に掲示しております。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

当プラザは、養護及び特別養護老人ホームと同一敷地内にあるため、単一の消防計画及び防災対策マニュアルに基づき、迅速かつ適切に対応できるよう定期的に消防訓練を実施してまいります。

また災害時における特別避難場所として物資の維持・管理も適切に行います。

地区社協主催の災害ボランティアネットワークにも定期的に参加し、地域と連携し防災に取り組み、必要に応じて地域の防災訓練にも参加します。

オ 事故防止への取組について

建物、設備、設置物の故障、危険性などについて、施設長、各事業職員が常にチェックをしたり、危険な体験、気づきつた場合は、ヒヤリハット報告を発し、事故防止委員会を開催し検討するなど、できるだけ事前に察知する努力をしてきます。また必要に応じて修繕などをして未然に防ぐ努力をします。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報保護に関する法令を遵守し、施錠ができるキャビネットを使用するなど、個人の権利や利益を侵すことのないよう情報を適切に取り扱ってきました。

また、所内では定期的な個人情報保護に関する職員研修を実施し、その取扱いについて確認をしています。毎年、年度はじめに誓約書に全職員に署名させ、市に提出しました。

キ 情報公開への取組について

介護サービス情報公開制度に基づき積極的に応じてきました。

また、当法人のホームページを活用し、財務情報を公開してまいりました。

今年度は、第三者評価を実施します。

ク 環境等への配慮及び取組について

シックハウス症候群、化学物質過敏症の対策として、公共構築物シックハウス対策ガイドラインに基づき、日々喚起を行い、工事の際には必要な対策を取るなど対応します。

また、事務用PC節電モードにしたり、訪問外出には、必要に応じて車輛でなく電動アシスト自転車、徒歩にするなど節電に心掛けます。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

看護師	1名
主任ケアマネジャー	1名
社会福祉士	1名
介護支援専門員	1名

《目標》

高齢者の生活機能維持・向上のためにケアプランを作成し、適切にケアマネジメントを行い、定期的にモニタリングをし、その都度プランの見直しをして、ご利用者が在宅で生活できるよう支援していきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 介護予防支援のケアマネジメント業務に関して、自己負担なし。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

フットワークの軽さをモットーにしています。
お気軽にご相談下さい。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
135	135	135	135	135	135
10月	11月	12月	1月	2月	3月
135	135	135	135	135	135

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（常勤兼務） 1名
介護支援専門員（常勤専従） 4名
（常勤兼務） 1名

《目標》

「人権尊重とプライバシーの保護」「質の高い安定した福祉サービスの提供」を理念に、ご利用者ご家族の立場に立った信頼とフットワークで適切な援助を目指します。

住み慣れた地域で安心安全に過ごせるようよく相談させていただき、ケアプランを作成いたします。公正・中立な立場で社会資源のネットワークを活用し、ご利用者の自立支援を目指します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●介護支援専門員が、通常のサービス実施地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合は、その旅費（実費）の負担をお願いすることがあります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

研修・講習会等積極的に実施・参加し、職員の資質向上を図ります。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
150	150	150	150	150	150
10月	11月	12月	1月	2月	3月
150	150	150	150	150	150

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 食事
- レクリエーション・体操・機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分

（要介護1）	860	円
（要介護2）	992	円
（要介護3）	1128	円
（要介護4）	1264	円
（要介護5）	1400	円
- 食費負担 650 円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:00 ~ 16:30 （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

管理者	1名	機能訓練指導員	3名
生活相談員	5名	運転兼業務員	4名
看護職員	3名		
介護職員	17名		

《目標》

介護を必要とする高齢者を対象に、健康チェック・入浴・レクリエーションなどを行い、1日を楽しんでいただく。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

おもてなしの心をモットーにしているスタッフが、体操を取り入れたレクリエーションを行っていきます。
四季折々の花や、みどりに囲まれた落ち着いた環境です。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
641	685	632	680	681	669
10月	11月	12月	1月	2月	3月
710	696	655	689	629	720

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- レクリエーション・体操
- 機能訓練

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要支援1） 2 2 9 8 円
 - （要支援2） 4 6 0 1 円
- 食費負担 6 5 0 円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9：00 ～ 16：30（半角で入力 例 9：00～15：00）

《職員体制》

管理者	1名	機能訓練指導員	3名
生活相談員	5名	運転兼業務員	4名
看護職員	3名		
介護職員	17名		

《目標》

自立支援—できることの能力を最大限に活かすお手伝いをします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

おもてなしの心をモットーにしているスタッフが、体操を取り入れたレクリエーションを行っていきます。

四季折々の花や、みどりに囲まれた落ち着いた環境です。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
13	13	13	13	13	13
10月	11月	12月	1月	2月	3月
13	13	13	13	13	13

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

施設内の事業や地域の集まり、またケアプラザからの広報誌で、ケアプラザの相談機能の周知に取り組みます。また、地区社協や関係機関と連携し、子どもや障害分野の地域課題の把握に取り組んでいきます。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

坂の多い地域性に必要な運動や口腔指導を含めた介護予防講座を計画し交流事業に同内容を継続できる形を展開していきます。また、開催場所を変えたりしながら年間を通し多くの参加者が見込めるよう工夫、実施していきます。

更に、地域で活躍できる新たな担い手を共同発掘しながら、ボランティア講座のテーマにも継続性を持たせていきます。

相談においては、必要に応じ介護保険や交流事業を紹介し人や地域と繋がる場の情報提供に努めていきます。

3 職員体制・育成

今年度も法人が主催するリーダー研修に引き続き交流職員が参加します。問題解決のあり方やプラザ職員の接遇を意識した研修を実施していきます。

4 地域福祉のネットワーク構築

支え合い勉強会では障害施設のない6地区で障害に関して勉強する機会や施設について知ってもらえる場の提供をしていきます。

また、様々な切り口から地域の課題が見つかるよう地域ケア会議を活用しネットワークを構築していきます。

5 区行政との協働

「にこまちプラン」推進のために、豊かな地域のつながりを目指して、地区支援や区との協働事業の実施に取り組んでいきます。また、元気づくりステーションやボランティア活動のきっかけとなるよう、自主事業を通しアプローチしていきます。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

毎月のシルバー会や民児協・連町会に積極的に足を運び、地域の情報収集に努めていきます。また、町内の掲示板を活用し、月1回程度情報発信に努めていきます。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

地域に出向いた時や、広報誌などで貸室のPRに取り組んでいきます。また、事業を多く立ち上げ、利用率を上げていきます。

3 自主企画事業

地域から把握したニーズから自主事業を実施し、自主活動へと支援していきます。また、介護予防事業の「アンチエイジング講座」の自主活動化を目指します。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

小中学生を対象とした「ヤングボランティア講座」や地域の方対象の「ボランティア講座」を実施し、新規発掘と育成を目指していきます。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

出前講座などを通して包括の周知を行い今後もアウトリーチを意識した対応を継続していきます。また、引き続き相談内容の分析を行い事業に活かしていきます。

地域包括支援ネットワークの構築

前年度に引き続き地域の会合に参加し連携強化に努めます。また、関心の高い課題を取り上げたプラザでの講座や出前講座、地域ケア会議を開催していきます。

実態把握

相談や情報は総合相談票に記録し、包括全体で共有できるようにしていきます。また、昨年同様町内別の相談統計を継続し地域別の課題抽出に努めます。

2 権利擁護

権利擁護

出来るだけ多くの場所で後見制度の出前講座を行い、年度末に開催予定の講座への参加を促していきます。今まさに必要としている人に適切な情報が届き利用へのきっかけとなるよう働きかけていきます。

高齢者虐待

ケアマネジャー、区、民生委員と日頃の情報交換を通して、虐待に繋がる可能性のあるケースの把握に努めていきます。また、積極的に地域やサービス事業所に出向き、虐待について正しい知識を持ってもらえるよう周知に力を入れていきます。

認知症

キャラバンメイト活動に積極的に参加し、認知症周知活動に努めていきます。また、メイト内での勉強会がスムーズになされるよう支援していきます。更に、若年性認知症の家族支援として4包括共同事業を計画しています。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

二次予防事業対象者介護予防ケアマネジメントに繋がらない対象者へも継続的にアプローチをしていきます。また、多くのエリアの高齢者にチェックリストを実施していき把握に努めていきます。

介護予防ケアマネジメント力

民生委員、ケアマネジャー、区、包括の交流会を実施し、顔の見える関係を構築することで地域の見守り等のインフォーマルサービスを取り入れ、地域に即したケアマネジメントができるようにします。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

昨年同様定期的な地域ケア会議を開催し地域の課題抽出に努めます。また、地域向けに障害に対する勉強会等も交流と共に実施していきます。

医療・介護の連携推進支援

今年度は精神科のある病院、精神保健福祉士とケアマネジャーの交流会を計画しています。近年相談件数の増えている精神疾患を抱える人の対応が適切にできるように努力していきます。プラザ協力医や地域の医師の協力を得て勉強会を開催していきます。

ケアマネジャー支援

定期的にケアマネジャー勉強会を開催し、スキル UP に努めます。また、事業者内に一人のケアマネジャーを対象に業務で困難と考える課題レベル UP に繋がるよう勉強会を開催します。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

年4回認知症家族のための多職種ミーティングに参加し、それぞれの地域で課題になっている意見を共有することで課題への取り組みができるよう繋げていきます。定期的な地域ケア会議を開催し、課題の抽出に努めていきます。また、多職種による視点を大切にしながらネットワーク構築していきます。

介護予防事業

介護予防事業

介護予防講座では開催場所を工夫し、同内容を交流事業と年間を通し実施していき自主化を目指していきます。また、地域で活躍していける新たな担い手を共同発掘できるようなボランティア講座の展開をしていきます。

2か所の元気づくりステーションのグループ支援を実施していきます。

その他

平成26年度 地域ケアプラザ収支予算書

施設名：浅間台地域ケアプラザ

平成26年4月1日～平成27年3月31日
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料等収入	16,327	22,871	149				
	介護保険収入							
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	委託料(地域包括支援センター相談体制強化事業)							
	経常活動収入(職員等給食費収入他)							
	経常活動収入(利用者等利用料収入・認定調査料他)							
財務活動等(設備資金借入金元金償還補助金)								
	収入合計(A)	16,327	22,871	149	0	0	0	0
支出	人件費	10,689	20,039					
	事務費	1,047	473					
	事業費	1,187	1,682	149				
	管理費	2,549	677					
	その他	855	0	0	0	0	0	0
	経常活動(交流事業人件費消費税・予防プラン委託料・職員給食費他)	855						
固定資産取得支出								
指定管理料等返戻金・設備資金借入金元金償還金支出他								
	支出合計(B)	16,327	22,871	149	0	0	0	0
収支 (A) - (B)		0	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成26年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
サロン「水仙会」	高齢者	258,000	128,400	129,600		258,000	
	27人 * 12回						
	400円						
ミニサロン「心の散歩道」	高齢者	50,000	10,000	40,000		50,000	
	20人 * 10回						
	200円						
子育て支援「親子であそぼ！」	未入園児・保護者	61,364	61,364	0	13,364	48,000	
	25組 * 24回						
	0円						
脳いきいきトレーニング	地域住民	0	0	0	0	0	
	25人 * 24回						
	0円						
ふみの会	高齢者・地域住民	36,000	36,000	0	0	36,000	
	12回						
	0円						
さざなみ歌の会	地域住民	32,724	8,724	24,000	26,724	6000	
	10人 * 12回						
	200円						
うたの会	地域住民	26,724	2,724	24,000	26,724	0	
	20人 * 12回						
	100円						
絵手紙教室	地域住民	50,112	23,112	27,000	50,112	0	
	10人 * 9回						
	300円						
ちょこっとおりがみタイム	地域住民	0	0	0	0	0	
	10人 * 24回						
	0円						
子育て支援 「ひだまりwithびすけっと」	未入園児・保護者	40,092	40,092	0	40,092	0	
	10組 * 12回						
	0円						
ごちそうさんサロン	地域住民	98,724	41,124	57,600	26,724	72,000	
	12人 * 12回						
	400円						
パソコンに親しむ会	地域住民	65,448	29,448	36,000	53,448	12,000	
	15人 * 24回						
	100円						
笑いヨガ	地域住民	26,724	2,724	24,000	26,724	0	
	10人 * 12回						
	200円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成26年度 自主事業計画書

浅間台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サロン「水仙会」	高齢者の自立支援と独居高齢者の安否確認。食事と交流の場・福祉保健に関する情報の提供	毎月第3水曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニサロン 「心の散歩道」	高齢者の自立支援と高齢者の安否確認及び趣味作り。交流の場と福祉保健に関する情報提供	毎月第4水曜日(8月、12月を除く) 年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援 「親子であそぼ！」	子どもの健全な育成のための支援と親同士のネットワーク作りの場の提供。親子遊びや集団遊び・絵本の読み聞かせ	毎月第1水曜日 0～1.5歳(年12回)、 毎月第2水曜日 1.5歳～未就園児 (年12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
びすけっと	ボランティアの資質向上を図り、「親子であそぼ！」の活動の支援。「親子であそぼ！」の計画・準備・実施	毎月第1、2水曜日 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳いきいきトレーニング講座	認知症予防、音読、計算、漢字の書き取り、簡単な体操	毎月第2、4火曜日 年22回(8月を除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
給食・配食サービス	地域の独居高齢者等の社会的交流と食生活の改善及び安否確認。調理し会食会を実施。ケアプラザは調理場提供・配達業務補助を行う。	毎月第1～4金曜日 年48回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵手紙教室	同じ趣味をもった仲間同士のネットワーク作り	毎月第4月曜日(1月、8月、12月を除く) 年9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さざなみ歌の会	社会的交流・仲間作りの場(閉じこもり防止)。カラオケから童謡唱歌までみんなで歌う。	毎月第3木曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたの会	社会的交流・仲間作りの場(閉じこもり防止)。童謡唱歌をみんなで歌う。	毎月第1木曜日 年12回

平成26年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふみの会	独居高齢者の社会的交流・ボランティア育成。外出できない高齢者に手紙を送り、社会との繋がり意識付けを図る。「ふみの会」に携わるボランティアの育成	毎月第4金曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちょこっとおりがみタイム	認知症予防。簡単な折り紙をつくる。	毎月第2、4火曜日 年22回(8月を除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援「ひだまりwithびすけっと」	子育て支援ボランティア「びすけっと」とケアプラザ職員による子育て情報の提供や親同士の交流の場の提供。自由遊びや読み聞かせ	毎月第4水曜日 (年12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ごちそうさんサロン	講師の指導で高齢者が食事作りをし会食する。	毎月第2月曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パソコンに親しむ会	講師の指導でパソコンを学び、参加者同士の交流を図る	毎月第2、4土曜日 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
笑いヨガ	講師の指導で笑いヨガを行い、健康増進と日常生活の活性化をめざす。	毎月第3月または火曜日 年12回